

令和5年度三田市高校生議会 質問・答弁内容

議員名 (高校)	質問テーマ・内容	答弁内容
<p>⑧ 脇尾 弥可子(三田祥雲館高等学校)</p>	<p>(再質問)            答弁の中で、三田市特有の歴史や文化が楽しめるコンテンツづくりや「さんだまち博」などの観光コンテンツの周遊ルート化を行っているとおっしゃっていただきました。そのような実際の取り組みの中では、課題だけではなく成果も多く得られたことと思います。参加者の反応などを含め、今までの取り組みの中で得られた、文化を活かしたまちづくりとしての成果について教えてください。またその成果を生かすコンテンツや施策を考えておられますか？お答えください。</p>	<p>(再答弁)            脇尾議員の再質問について、「さんだまち博」を例にお答えします。            「まち博」はこれまで3か年にわたって取り組んでおりますが、最大の特徴は、名乗りを上げていただいた様々な方々の企画提案で構成されるオムニバス形式のプログラムであるという点です。            その中で歴史文化を楽しむ企画も、毎年興味深い提案を複数いただきましたが、関わっていただいた方からは、実施する側にも学びがあると同時に参加者とのコミュニケーションを通じてお互いの新たな発見につながり、まちに対する愛着がより深まったとの感想をいただいています。            これらの実績を踏まえて、事業の成果として大きく3点を考えています。            一つ目は、市の特色ある歴史や文化を「伝えたい・広めたい」という志をお持ちの方々の思いを成功体験として具体化できた点。もう一つは、学生に代表される若者の提案や積極的な参加が得られた点、そして関わっていただいた皆さんそれぞれにまちへの思いを新たにさせていただけた点です。            これにより歴史や文化をテーマとしたコンテンツに触れることは、市民主体のまちづくりの原動力となるまちへの愛着いわゆるシビックプライドを育てていただく大切な機会になることが改めて認識できました。            またこれまで歴史や文化を伝える担い手がとかくシニア世代中心となりがちであっ</p>

令和5年度三田市高校生議会 質問・答弁内容

た中で、提案の公募や参加者募集の手法を工夫すれば多様な世代の参加が得られる可能性を実感できた点も大きな成果だと考えています。

したがって今後とも、より多くの皆さんに主体的に企画に関わっていただくことで、主催者と参加者がともに学び、まちへの愛着を高めるような仕掛けづくりに若いみなさんの知恵もいただきながら取り組んで参りたいと考えておりますので議員のご理解をお願いします。